

第38回 日本看護科学学会学術集会

2018年12月15日(土)・16日(日)

インドネシアに帰国したEPA看護師候補者 の看護の役割意識の変化 -来日経験のない看護師の意識との比較-

小笠原広実(公益財団法人日本アジア医療看護育成会)

野崎真奈美(順天堂大学 医療看護学部)

新美純子(中部大学 生命健康科学部 保健看護学科)

はじめに

- EPA外国人看護師・介護福祉士候補で来日したインドネシア人看護師の中で、インドネシア帰国後に看護師として仕事をしている人は少ない。
- 日本での3－4年間の医療現場での経験が、看護師の意識に何らかの変化をもたらしているかについては明らかになっていない。
- EPA受け入れがインドネシアの看護の発展に寄与しているかどうかという疑問の声もきく。

- ジャカルタの日系クリニックAでは、EPA来日経験者と、来日経験のない看護師が共に仕事をしている。日々、クリニックの理念を意識させているが、日本での体験の有無により、看護の役割のとらえ方に相違のあることが分かった。
- このような場は、たいへん少ないことから、この意識の比較は貴重な意義があるのではないかと考えた。

【本研究の目的】

EPA来日経験者の看護の役割意識の変化を明らかにし、日本の医療施設で学ぶ意義は何かを探ることである。

【研究対象】

来日経験のあるインドネシア人看護師8名、来日経験のない看護師4名。

【研究方法】

1. クリニックの理念をもとに、看護師の意識をとらえるための調査用紙を作成する。(インドネシア語)
2. 一つの内容を一つのデータとして記述し、意味ごとに類別して簡潔な日本語で意味内容を表す。
3. 各々の記述を比較検討し、その特徴を明らかにする。

【倫理上の配慮】

研究目的について説明し同意を得る。クリニック責任者に同意を得る。対象者には業務上の評価には影響のないことを保証する。

結果

対象者の特性

来日経験あり(EPA)		来日経験なし
8名	人数	4名
男性 0名 女性 8名	性別	男性 2名 女性 2名
看護師候補7 介護福祉士候補1	EPA候補	
3年制 5名 5年制学士 3名	学歴(看護教育)	3年制 3名 5年制学士1名
日本の看護師免許取得 2名	免許・経験	サウジアラビアでの就労経験あり 2名 (約5年間)
3か月から4年4か月	当クリニックでの就労経験	3か月から3年3か月
2年から10年 (平均 約6.5年)	インドネシアでの看護師経験	3年から9年 (平均 約6年)

クリニックAの理念と基本方針

Mission:

To contribute to improve medical care in Indonesia Based on collaboration between Indonesian and Japanese Medical staff

Visions:

We are the best provider with Japanese style in medical services in Indonesia

Values:

1. Medical Care is a Service Industry

It is important that we satisfy patients' needs

2. Hospitality

We welcome patients with smile and provide comfort

3. Adequate Explanation

Patients require enough explanation to understand their medical conditions.

4. Daily Innovation

We always improve medical care and working environment

5. Speed is Diamond

Speedy work is as valuable and precious as diamond.

質問項目 (記述式アンケートはインドネシア語で実施)

クリニックの理念について、どのように考えているのか意識を問う質問項目とした。

1. インドネシアの医療を向上させる必要があると思いますか?
2. 日本式の医療サービスとはどんなことだと思いますか?
3.
 - 1) 患者の必要性を満たすとは、どういうことを指していると思いますか?
 - 2) 患者に安心感を与えるために何をしますか?
 - 3) 十分な説明をするとは、どのような方法で行いますか?
 - 4) 現在、改革したいと思う医療サービスや仕事の環境はありますか?
 - 5) 「時は金なり」とは、あなたにとってどういうことですか?

この回答より、来日経験ありの記述107. 来日経験なしの記述76を取り出した。

日本式の医療サービスとはどんなことだと思いますか？

来日経験あり

【継続的な医療サービス、退院後のフォローや、家での日常生活まで考える】

【情報提供や病気についての説明などが丁寧】

【医療チーム間の協働がある、また医師と看護師の平等なパートナーシップ】

来日経験なし

【日本語の説明や日本製の機器を使う】

* 日本に行った同僚から、【日本では効果的なサービスと病気についての十分な説明がなされる」「治療後もフォローアップのサービスが受けられる」と聞いたとの記述あり。

患者に安心感を与えるために何をしますか？

来日経験あり	来日経験なし
<p>【物品の事前の準備】 【患者に対して上から目線で接しない】</p>	<p>【患者の社会背景を見ないで患者を尊重し教育を行う】 * 社会背景をとらえることは、 経済的社会的地位の差別・偏見につながるため</p>

共通点として

- ・清潔にする
- ・わかりやすい言葉で話す
- ・笑顔でリラックスできるように接する
- ・うるさくしないで落ち着いた雰囲気にする
- ・患者が何を必要としているか尋ねてしっかりと答える

十分な説明をするとは、どのような方法で行いますか？

来日経験あり	来日経験なし
【患者が理解できたかどうか反応をよく見る】	【必要なことをわかる言葉で説明すること】 【質問の時間を与え答える】

改革したいと思う医療サービスや仕事の環境はありますか？

来日経験あり	来日経験なし
【最新の知識を得るためセミナーに参加する】 【チームワークのために、仕事環境を整える】 【申し送り、引き継ぎ、患者のフォローアップを正確に行なう】	【他のスタッフを尊重し、チームワークをはかる】 【仕事の能力向上のために、研修に参加する】 【よいアイデアがあれば、マネジメントに伝える】

「時は金なり」とは、あなたにとってどういうことですか？

来日経験あり	来日経験なし
【素早い対応ができるようにいつも周囲に注意を向けておく】 【早めに確認・準備をする】 * 事前の対処をする大切さ	【手順スタンダードに沿って素早く、かつ間違いなく行う】

共通点として

- ・効果的・効率的にだらだらしないこと
 - ・質を下げずに、できるだけ早く終わらせる
- * 仕事の中で改善点や新しいアイディアに気づいたら、すぐに動いて、日々改善していく、という理解の回答は見られなかった

考察・結論

1. 来日経験なしの看護師は、自分たちは専門職で経験もあり、スタンダードに沿って仕事をしているという自負を持っており、日本語を使うという以外にはほとんど日本とのサービスの違いを意識していなかった。
2. 来日経験のある看護師は、ほとんどが看護助手の経験しかしていないが、日本で大切にしている**継続看護、退院指導、チーム医療、患者の反応観察、事前準備**について必要性を学んでいた。

海外から日本の医療施設に来る看護師に、上記の重要性を実践の場で伝え、指導していくことは、自国に戻ってから、看護の発展に役立ててもらうために意義があると考えます。

利益相反

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業・組織および団体等はありません。